

令和5年度 改善実施状況報告書【 教育 】

推進責任者： 宇佐川 毅

改善を要する点			改善計画	計画の実施主体	計画の実施状況	備考
年月	内容	根拠				
令和5年10月	【教育学部】 一部の教育プログラムのディプロマ・ポリシーにおいて、大学の教育目的に対応できていない部分が見られたため、見直しを行っていただきたい。	「学位プログラム評価」における評価項目A-1の点検項目【ディプロマ・ポリシーが大学の理念・目的・目標に即して定められていること】	指摘部分である初等・中等教育コース英語専攻のディプロマ・ポリシーについて、英語科教育講座を中心に修正案を検討する。10月23日開催の令和5年度第5回教育学部・教育学研究科運営会議、11月8日開催の令和5年度第8回教育学部教授会において審議・了承され、11月10日付けで理事・副学部長宛に提出した。 しかし、大学教育統括管理運営機構から再度、同箇所について指摘があったため、学部内で再度修正案を検討し、12月4日開催の教育学部運営会議にて了承された。その後、12月12日開催の教育会議にて審議・了承された。（教育学部では、12月13日開催の令和5年度第9回教育学部教授会において追認定され	教育学部教授会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	令和6年4月1日付けで施行予定。
令和5年10月	【教育会議】 複数の教育プログラムにおいて、カリキュラム・ポリシーとカリキュラム・ツリーとの修得能力・科目の相関性が一致していないプログラムが散見されたことから、改善に向けた体制等をご検討いただきたい。	「学位プログラム評価」における評価項目C-1の点検項目【カリキュラムマップ、カリキュラムツリー等に、履修の順序関係を明確にした体系性が示されていること。】	令和5年11月、教育会議WGを開催し、令和5年度教育総合評価結果を受けて見直した「3ポリシー等を変更する場合のフロー」を再度見直す。 また、令和2年10月に大学教育統括管理運営機構が作成した「3ポリシー再点検に際しての観点と留意事項」を、令和5年2月に取りまとめられた「教学マネジメント指針（追補）」にも対応した内容に見直し、12月開催予定の教育会議へ提案する。 12月開催予定の教育会議で審議・了承後、部局へ通知する予定である。	教育会議	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	令和5年12月12日開催の令和5年度第5回教育会議において、「3ポリシー再点検に際しての観点と留意事項（補足）」及び「3ポリシー、カリキュラムマップ、ツリー公表のフロー」が了承され、令和5年12月14日付教育会議議長名で、部局へ通知した。 「3ポリシー再点検に際しての観点と留意事項（補足）」に再点検を要する事例を【チェックリスト】として掲載し、目次「3ポリシー、カリキュラムマップ、ツリー公表のフロー」について、カリキュラムマップ、ツリーの最終点検を入学前年度末に実施できるよう改正し、全学的な体制を整えた。
令和5年10月	【FD委員会】 大学院課程の教育プログラムにおいて、シラバスチェック等のFDに関する取組が確認できない部局がみられたため、FD活動の充実に向けて検討いただきたい。 なお、とりわけ博士後期課程においては学生数が僅少な教育課程もあるため、授業改善のためのアンケート等、授業科目単位での実施が難しい状況も踏まえ、代替の取組について検討いただきたい。	「学位プログラム評価」における評価項目C-3の点検項目【シラバスを検証することで、1単位当たり45時間の学修時間が必要であることが確認できること。】	令和5年11月24日開催のファカルティ・ディベロップメント委員会において、改善の提案を受けて本委員会における対応について審議した結果、以下のように対応することが承認され、改善に向けて取り進むこととした。 ・令和5年度シラバスチェックについては令和6年1月末を期限として依頼済みであるが、学部及び研究科（教育部）等の複数の教育プログラムをまとめて報告書を作成する際は、チェックを実施した科目数の開講部局（大学院は課程別）別の内訳を明記して報告書をとりまとめていただくよう、部局へ再度依頼を行う。 ・大学院博士後期課程を中心とした履修者が少ない授業科目における「授業改善のためのアンケート」のあり方については、令和6年3月までに本委員会において、実施方法等、システム改修も含めて具体的な方策を検討をする。	ファカルティ・ディベロップメント委員会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	・令和5年12月、各部局へ令和5年度実施のシラバスチェックの際は、実施科目数の開講部局別内訳を明記するよう留意事項を付し、部局へ再依頼を行い、全部局から報告書の提出がすべて対応されていることを確認した。次年度以降も、同様の体制にて実施する。 ・令和6年3月12日開催の第4回ファカルティ・ディベロップメント委員会において審議を行い、令和7年度に新学務情報システム（SOSEKI）のリニューアル時に「アンケートWebオプション」機能追加が予定されており、同オプションを利用することで、学生の所属別で匿名アンケートを実施することが可能となることから、大学院課程等において、履修者数の状況により授業アンケートの実施が難しい教育プログラムに関しては、同オプションを利用し、教育に関する学生アンケートを実施することとした。令和7年度実施に向けて、令和6年度以降に質問項目等の検討を行う。

改善を要する点			改善計画	計画の実施主体	計画の実施状況	備考
年月	内容	根拠				
令和5年10月	【保健学教育部（博士後期課程）】 博士後期課程におけるシラバス チェックを適切に実施いただきたい。	「学位プログラム評価」における評 価項目C-3の点検項目【シラバスを検 証することで、1単位当たり45時間 の学修時間が必要であることが確認 できること。】	令和6年1月までに、博士前期課程・後期課程におけるシラバスチェックを適切 に実施する。また、保健学教育部シラバスチェック要領を見直しを検討し、実 効性の担保を図る。	保健学科FD・広報 委員会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	令和5年12月8日までに博士前期課程・後期課程へのシ ラバスチェックを完了した。また、シラバスチェック要 領の見直しを同年11月27日に実施し、博士前期課程・後 期課程の科目を対象とする旨を明記した。
令和5年10月	【教育会議】 授業を行う期間が年間35週にわたる ことを踏まえ、「学年暦の明確化」 として令和3年度に改善の提案を行っ たが、留意すべき事項である「授業 を行う期間が35週であることを明示 する」、「各曜日等の講義回数につ いて、何回目の授業であるかをわか りやすく明示する」に関して対応が 不十分だと思われる部局が確認され たことから、改めて、部局への周知 を行っていただきたい。	「全学共通評価」における評価項目 D-1の点検項目【各科目の授業期間 が15週となっていること。また、8 週となっている科目は、教育上の必 要があり、15週を期間として授業を 行う場合と同等以上の十分な教育効 果をあげていること。】	令和5年11月、教育会議WGを開催し、部局への通知案及び学年暦案を検討のう え、12月開催予定の教育会議へ提案する。 12月開催予定の教育会議で審議・了承後、部局へ通知する予定である。	教育会議	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	令和5年12月12日開催の令和5年度第5回教育会議にお いて、学年暦検討に係る部局への通知及び学年暦案が了 承され、令和5年12月14日付教育会議議長名で、令和6 年2月8日を期限に部局へ検討を依頼した。 教育会議WGにおいて、各部局から提出された学年暦 について、「各曜日等の講義回数について、何回目の授 業であるかをわかりやすく明示できている」ことを確認 のうえ、令和6年2月20日開催の令和5年度第7回教育会 議において報告した。
令和5年10月	【FD委員会】 大学院課程の教育プログラムにおい て、シラバスチェック等のFDに関す る取組が確認できない部局がみられ たため、FD活動の充実に向けて検討 いただきたい。 なお、とりわけ博士後期課程におい ては学生数が僅少な教育課程もある ため、授業改善のためのアンケート 等、授業科目単位での実施が難しい 状況も踏まえ、代替の取組について 検討いただきたい。	「学位プログラム評価」における評 価項目D-2の点検項目【全ての授業 科目のシラバス、授業計画欄が当該 授業科目の単位数により定められた 授業時間に相当する授業回数分（8 回、15回等）で構成されているこ と。】 D-3の点検項目【シラバスの各項目 に空欄がなく、全科目・全項目が記 入されていること。】 D-5の点検項目【学生の学修時間を 確保するような工夫がなされている こと。】	(学位プログラム評価：C-3の同「改善計画」に記載のとおり)	ファカルティ・ ディベロップメン ト委員会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	(学位プログラム評価：C-3の同「備考」に記載のとおり)
令和5年10月	【保健学教育部（博士後期課程）】 博士後期課程におけるシラバス チェックを適切に実施いただきたい。	「学位プログラム評価」における評 価項目D-2の点検項目【全ての授業 科目のシラバス、授業計画欄が当該 授業科目の単位数により定められた 授業時間に相当する授業回数分（8 回、15回等）で構成されているこ と。】 D-3の点検項目【シラバスの各項目 に空欄がなく、全科目・全項目が記 入されていること。】 D-5の点検項目【学生の学修時間を 確保するような工夫がなされている こと。】	(学位プログラム評価：C-3の同「改善計画」に記載のとおり)	保健学科FD・広報 委員会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	(学位プログラム評価：C-3の同「備考」に記載のとおり)

改善を要する点			改善計画	計画の実施主体	計画の実施状況	備考
年月	内容	根拠				
令和5年10月	【FD委員会】 大学院課程の教育プログラムにおいて、シラバスチェック等のFDに関する取組が確認できない部局がみられたため、FD活動の充実に向けて検討いただきたい。 なお、とりわけ博士後期課程においては学生数が僅少な教育課程もあるため、授業改善のためのアンケート等、授業科目単位での実施が難しい状況も踏まえ、代替の取組について検討いただきたい。	「学位プログラム評価」における評価項目F-1の点検項目【各授業科目のシラバスの成績評価欄の記載が適切であること。】 F-2の点検項目【【教職課程含む】授業科目ごとに学生に対して授業の目標が明示されていること。】	(学位プログラム評価：C-3の同「改善計画」に記載のとおり)	ファカルティ・ディベロップメント委員会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	(学位プログラム評価：C-3の同「備考」に記載のとおり)
令和5年10月	【保健学教育部（博士後期課程）】 博士後期課程におけるシラバスチェックを適切に実施いただきたい。	「学位プログラム評価」における評価項目F-1の点検項目【各授業科目のシラバスの成績評価欄の記載が適切であること。】 F-2の点検項目【【教職課程含む】授業科目ごとに学生に対して授業の目標が明示されていること。】	(学位プログラム評価：C-3の同「改善計画」に記載のとおり)	保健学科FD・広報委員会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	(学位プログラム評価：C-3の同「備考」に記載のとおり)
令和5年10月	【教職総合センター】 ・昨年度改善指示事項であった本項目について、改善計画に基づき、適切に実施いただきたい。 (参考：令和4年度指摘事項) ・同一名称の授業科目における成績評価の共通の理解を図るよう、教職課程における実施体制を検討いただきたい。	「教職課程評価」における評価項目F-3の点検項目【成績評価に関する共通の理解が構築されていることを確認していること。】	次の事項について、教職総合センター教職運営委員会で改善計画を実施する。 ・ 同一名の授業シラバスで差があった科目は、当該学部教授会（令和5年2月8日）において、課題として提案した。成績評価を含めた令和6年度シラバス統一について、教職系の教員2名（教育学系1名の教授、心理系1名の教授）令和6年2月末までにシラバスの修正について依頼した。 修正されたシラバスについては、3月末までに教職運営委員会で確認する。	教職総合センター運営委員会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	・ 令和5年12月に教職運営委員会委員長から、教職系の教員に対して該当学部担当教員へ成績評価を含めたシラバス統一について検討依頼し、令和6年2月にシラバスの成績評価を統一するとの報告があった。 教職運営委員会は、令和6年度シラバスの該当科目が修正されていることを確認した。
令和5年10月	【薬学教育部（博士前期課程・博士後期課程・博士課程）】 成績評価の分布・分析に関して貴部局にてご検討の方策に基づき実施いただきたい。	「学位プログラム評価」における評価項目F-5の点検項目【成績評価分布データの分析、評価が適切に行われていること。また、GPA算定の対象科目について、成績分布型が妥当であることを確認していること。】	次年度からのシラバス作成時に間に合うように以下のポイントを教授会にて周知する。 「大学院授業の成績付けは特別講義を含めたレポートあるいは関連論文を自ら調べ、要点や思った意見を述べるレポートで採点することが多い。当該レポートの採点をより厳格化する評価法や各々の工夫をシラバスに記載して頂き、成績が正規分布化になるように努める。またその有効性については次年度以降の成績評価の確認にて検証する。」	薬学部・薬学教育部教務委員会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	令和6年3月6日臨時薬学教育部教授会において周知を行った。
令和5年10月	【法学部】 個人指導が中心となる科目における成績評価の客観性を担保する体制を検討いただきたい。	「学位プログラム評価」における評価項目F-S1の点検小目【個人指導が中心となる科目を開設している場合に、成績評価の客観性が担保されていること。】	本年度内に卒業論文の成績評価を確認する体制を構築し、来年度（令和6年度）から運用を開始する。	法学部教務学生委員会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	令和6年度から教務学生委員会で卒業論文の成績評価について審議する体制を構築した。

改善を要する点			改善計画	計画の実施主体	計画の実施状況	備考
年月	内容	根拠				
令和5年10月	【薬学部】 卒業・修了生アンケート調査回収率の向上に向けた取組を、貴部局でご検討中の方策に基づき実施いただきたい。	「学位プログラム評価」における評価項目H-1の点検項目【卒業（修了）後一定の期間を経た既卒者に対するアンケート調査により、学修成果が得られていることを確認していること。】	今後、薬学部長への周知依頼がある毎に、教授会での周知、また各研究室へ「卒業（修了）生連絡先登録システム」への登録について卒業（修了）予定者へ勧めていただくよう協力を依頼する。 なお、令和5年11月22日開催薬学部教授会において、「令和5年度卒業・修了予定者の進路調査について（依頼）」の報告に併せて、「卒業（修了）生連絡先登録システム」について卒業（修了）予定者への登録についての協力依頼を行った。	薬学部・薬学教育部教務委員会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	
令和5年10月	【教職総合センター】 ・昨年度改善指示事項であった教職への就職に関するデータの収集と適切な進路指導体制について、改善計画に基づき、適切に実施いただきたい。 (参考：令和4年度指摘事項) ・教職への就職に関するデータの収集と適切な進路指導体制について検討いただきたい。	「教職課程評価」における評価項目I-2の点検項目【教職課程の学生に対する進路指導の実施状況を確認する。】	次の事項について、教職総合センター教職運営委員会で改善計画を実施する。 ① 「教職実践演習受講者アンケート（文・理・工）」を令和6年2月に実施し、調査結果を令和6年3月末までに取りまとめる。 ②教職総合センター長から開放制学部長に対して、令和6年1月に「履修カルテ」への学生の記載及び教員の確認及び入力に関して周知徹底を図る。 ③ 令和5年1月に依頼した開放制学部が実施する教職への進路指導に関する資料（1年次の入学ガイダンスにおける教職の履修指導、教育実習の事前指導・事後指導、教職に関する進路指導（学部委員や指導教員の個別指導を含む）に関して令和6年3月末までに提出を求め、学部の実施状況について確認する。 ④ 文・理・工学部の4年生学生に対して、教育学部学生支援相談室主催の「教員採用試験対策講座」の受講を実施する。 ⑤ 文・理・工学部の教員採用試験を目指す学生を対象に、教育学部学生支援相談室において、個別指導及び面談を実施する。 ⑥ 教育学部学生及び開放制学部2年・3年生を対象に教育学部厚生就職委員会主催の「教員採用試験対策講座」（教育法規Ⅰ、Ⅱ、論文入門、前年度過去問による模擬試験等）を6月から12月まで講座を6回開講する。	教職総合センター 教職運営委員会 地域連携・教職支援部門会議	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	<p>① 令和6年1月15日開催の地域連携・教職支援部門会議（書面会議）において、令和5年度教職実践演習受講者アンケート調査項目の確認及び見直しを行い、開放制学部（文学部 19人、理学部36人、工学部2人）に対してアンケート調査を実施し、53人（回収率 93%）から回答を得た。</p> <p>アンケートは、地域連携・教職支援部門において3月末までに分析を行い、令和4年度及び5年度のデータを比較分析して令和6年度教職運営委員会に報告する。</p> <p>② 令和6年1月に改善計画のとおり周知徹底を図った。</p> <p>③ 令和5年1月及び令和6年1月に資料提出依頼を行った。文学部、理学部、工学部から1年次の入学ガイダンス及び進級時の教職の履修指導、教育実習の事前指導・事後指導の資料提出があり、開放制学部において進路指導が実施されていることを確認した。</p> <p>④「教員採用試験対策講座」に開放制学部4年生延べ41人の申込みがあり、4月から7月まで講座を開講した。</p> <p>⑤ 教育学部学生支援相談室において、令和5年5月から8月まで開放し、開放制学部学生延べ7人が個別指導及び面談を受けた。</p> <p>⑥ 「教員採用試験対策講座」には、開放制学部から延べ47人の申込みがあり、6月から12月までの講座6回を開放制学部も対象として開講した。なお、次年度も同講座を継続することが確定している。</p> <p>以上のことから、開放制学部の学生への教職に関する情報提供、開放制学部の進路指導体制が適切に確立されている。</p>

改善を要する点			改善計画	計画の実施主体	計画の実施状況	備考
年月	内容	根拠				
令和5年10月	【進路支援委員会】 昨年度の改善事項「就職支援の在り方」に関して、委員会等で現状分析を行ったことが確認できなかったため、戦略的な就職支援につながるような情報の収集、分析等を適切な委員会等で確認する体制を検討いただきたい。	「全学共通評価」における評価項目I-4の点検項目【インターンシップを除くキャリア形成支援の実施状況を確認する。】	<p>本学の就職支援については進路支援委員会が所掌しており、合同企業説明会等の参加状況や学生の進路などの情報収集、分析等を行い、今後の就職支援の在り方について検討を行っている。</p> <p>令和4年度卒・修了者の進路データが確定したことにより、改善計画に係るエビデンスデータが確定したため、令和5年第2回進路支援委員会にて確定データを報告した。県外企業合同説明会参加学生の参加企業への内定者数は、119名で参加者の34%、県内企業合同説明会参加学生の参加企業への内定者数は、26名で参加学生の18.8%であり、相当数の学生が説明会参加企業へ内定していることが確認された。</p> <p>この情報及び分析結果を基に、3月開催予定の令和5年度第3回進路支援委員会において、令和6年度の就職支援の実施内容について検討する。</p> <p>加えて、教員採用試験対策講座の開放学部への支援状況についても、受験者や合格者の情報収集・分析等を行い、検討を行う。</p>	進路支援委員会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	<p>第2回進路支援委員会で確認した令和4年度卒・修了者の分析結果を基に、3月8日開催の第3回進路支援委員会において、令和6年度の就職支援の実施内容について検討した。</p> <p>教員採用試験対策講座受講生の受験者や合格者の情報収集については、進路データが確定していないため、引き続き収集を行う。</p>
令和5年10月	【自然科学教育理学系専攻（博士前期課程・博士後期課程）】 各教育プログラムのポリシーは確認できたが、各専攻のポリシーが確認できなかったため、次年度の公表に向けて準備いただきたい。		令和5年12月13日開催の理学部アセスメント委員会において専攻のポリシーについて検討しており、令和6年2月の運営会議及び3月の臨時教授会にて審議し、次年度、公表する予定としている。	理学部運営会議 理学部運営委員会 理学系教育部会議	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	改善計画に示すとおり専攻のポリシーを作成し、各会議にて審議しており、令和6年度公表を予定している。
令和5年10月	【自然科学教育部工学系専攻（博士前期課程・博士後期課程）】 各教育プログラムのポリシーは確認できたが、各専攻のポリシーが確認できなかったため、次年度の公表に向けて準備いただきたい。		現在、各専攻のポリシーについて検討を進めており、令和6年1月16日の教育委員会及び1月24日の教授会にて審議し、次年度、公表する予定としている。	工学系教育委員会 工学系教授会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	一旦作成した各専攻のポリシーについて指摘を受け、修正対応を行い、令和6年度公表する予定としている。